手づくり情報紙

IWAMOTO FREE PAPER

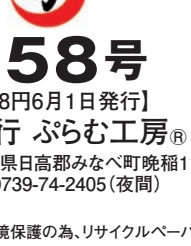
ぷらむ工房®

第58号
【2008円6月1日発行】
■発行 ぷらむ工房®
〒645-0022　和歌山県日高郡みなべ町晩稲1187番地
TEL0739-74-2406、0739-74-2405（夜間）
FAX0739-74-3194
●この情報誌は、地球環境保護の為、リサイクルペーパーを使用しております。

観て食べて歩いて笑った

熊野古道沿い ちょっと

中辺路町近露 癒しの散策ツアー



世界遺産に登録されて以来、熊野古道に訪れる人がどんどん増えています。でも、ただ歩いて帰るだけではもったいない、観光パンフには載っていないとっておきスポットを今回はご案内します。久しぶりに登場するぷらむ探検隊3号も加わって、どんな旅に怒るのやら…　では、いよいよ出動～!じゃない、しゅっぱ～つ!

みなべ町からクルマで1時間ほど行くと中辺路町近露に到着。和歌山の魅力は何といっても、ちょっとクルマを走らせると、豊かな緑がいっぱいで空気までもが澄みきっているところ芯んです。梅の里みなべももちろん自然がいっぱいで気持ちのいいところなんですが、熊野古道はまったく違う空気が流れています。この独特の感覚は、そこに立ってこそ感じるものなんです。緑の中で染まりそうな感覚を楽しんでいると、ぷらむ探検隊1号が「あああ～気持ちいい～!!さあ、お昼ごはん食べようか!」えっ、もう!?実は今回、最大の楽しみとも言えるのが「お昼ごはん」。オーナーの中峯さんが、ちょっと傾きかけた古い農家を改修し、自分で作った野菜とお米でマクロビオティックを基本としたカフェを去年の11月にオープンさせたのです。名前は「朴（ぼく）」。何もかもがその名の通り素朴そのもので、健康食に敏感な1号と3号にとってすべてが興味深々。噛むほどに美味しさが広がる黒米入り玄米、野菜ってこんなに力強い味があったんだ～「これはもうドンと押しちゃいます!太鼓判!」

3種類あるランチメニューの中からぷらむ探検隊が揃って注文したのが「玄米定食」。たかきびのロールキャベツをメインにワンプレートの中には、とれたての野菜を使った惣菜が彩りよく盛り込まれています。オイシイのよ～!

毎朝焼く天然酵母のパンもおすすめでございます。もっちもちの香ばしいパンは地元の人やら遠くからわざわざ買いに来る人が多く、午前中で売り切れることがほとんど。「あかん、ご飯食べる前に買っとかな!」と3号がどっさりゲット!　左端の写真はランチの後についてくる日替わりデザートで、この日は「黒ごまのブラマンジェ」。ほっこりやさしい美味しさでございます～。田舎ごはんとカフェ朴 (BOCU) 和歌山県田辺市中辺路町近露203 TEL 0739-65-0694 OPEN 11:00～18:00 定休日 水・木曜日

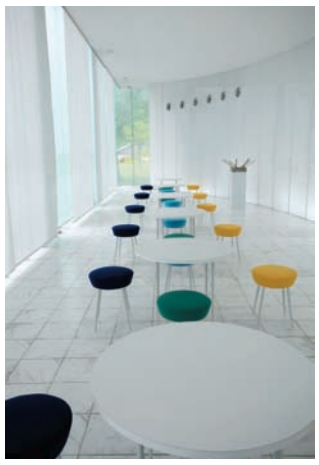
自然の恵みを体感する古道時間

アートに染まる古道のんびり探検しました

中辺路の中継点に建つ、なかへち美術館はまるで静かな山里にそっと置かれた小さなガラスの宝石箱。ここでは主に日本画家「野長瀬晩花」、南画家「渡瀬凌雲」の二人を中心とした地元ゆかりの画家とその周辺の作品や資料が展示されます。

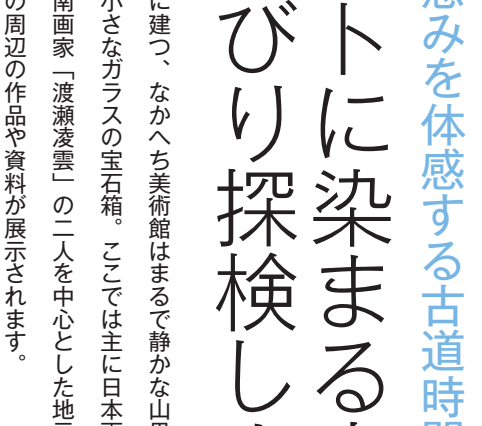
能野古道なかへち美術館　和歌山県田辺市中辺路町近露892 TEL 0739-65-0390 OPEN 10:00～17:00（入館は 16:30まで）　休館日　月曜日(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日、年末年始

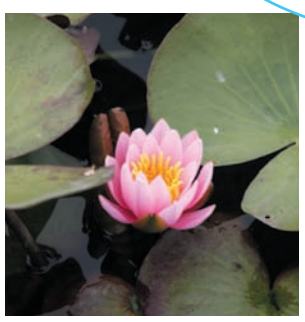
突然現れる美術館は建物だけでも一見の価値アリ



中にはいると外に居たときと変わらない程の明るさと開放感設計を手がけたのは、金沢21世紀美術館やルーヴル美術館ランス別館の設計を担当した日本人建築家の妹島和世さんと西沢立衛さんによる国際設計事務所のSANAAだと聞きびっくり！確かにどこか魅力を感じる不思議な空間。今年で10周年となり、今は記念特別展の「渡瀬凌雲展」がされていました。中辺路町を郷里として生まれた凌雲は、7歳から南画と山水画を習い、日本の南画界の重鎮として活躍した画家です。凌雲が好きだったという長唄を聴きながらゆっくりと観覧しているうちに「こういう癒され方もあるんだなぁ」とほのぼの…。美術館自体までもが美術品のなかへち美術館で、ほっこり心安らぐ時間を過ごしました。

近露付近は近露道中といわれ、熊野街道の宿場としてにぎわった所で、江戸時代には十軒近くの宿屋があったそう。なみちゃんとこの睡蓮田の近くには紀州藩が官史の通行と公用の文章や荷物の逓送のために設置した「近露伝馬所跡」があり、西は逢坂峠・十丈峠を隔てた高原、東は比較的近い野中との連絡にあたっていたそうです。





「古道の里に花と愛」をテーマに作られたほっこり農村景観

美術館を後にし、次に向かったのが「卓ちゃんとこの睡蓮田」と「なみちゃんとこの睡蓮田」。地域の休耕田を活用した環境美化をテーマに景観保全に取り組んだ活動のひとつなのです。花はまだ満開ではなかったものの、きれいな睡蓮の花を見て「癒されるわぁ～」を連発の探検隊 1号。卓ちゃんとこの睡蓮田には沢山のメダカが泳いでいて「昔はよぉメダカすくいしたもんや ～」と昔話に盛り上がり、なみちゃんとこの睡蓮田前にある無人のオープンカフェ「丹だ」で休憩することに。注文はどうすればいいのか近くにあった同じ名前のみやげ・茶房「丹だ」に行ってみるも開いておらず、睡蓮を眺めながらのカフェタイムを断念。

思わず深呼吸したくなるほどの緑と山々！

森林の中の温泉「女神の湯」は、中に入ると小さな浴槽がたったひとつあるだけ…。ところがこの温泉、なんと楽天トラベルのとるみ度ランキング ナンバーワンに選ばれた、温泉マニアの中ではちょっと有名な温泉だったのです。

アイリスパーク オートキャンプ場
和歌山県田辺市中辺路町近露128-1
TEL 0739-65-0410

チョウザメはいつでも見れるので声をかけてくださいね。

この日もたっくさんのチョウザメが泳いでました!!
右は外に出てきたインコのベニちゃんです…

ここは「アイリスパーク・オートキャンプ場」。名前はかわいいけど、かなり「パラタイス」な場所です。そう、知っている人は知っている、あの探偵ナイトスクープの「パラダイス」です。確かな記憶ではないけれど、ここにチョウザメがいたような…それを見にきたのですが、な～んか雰囲気が…。あっ、レストランがある！あそこで聞いてみよう。と行ってビックリ！巨大なインコが入り口にあるわ、窓には大ワシとイヌワシがいるわ、でっかシェパードが立ち上がってくるわで、パラダイスというよりもサファリパーク？にでも行ったような錯覚に!!そうそう肝心のチョウザメは？…ありました。元釣堀の中で鯉と一緒にゆらゆら泳いでましたよ～。

長さ80cm幅30cm位の葉!!です。